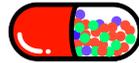


薬局通信


第119号


大阪母子医療センター

新規試用または採用、採用区分が変更になった医薬品一覧

新規試用医薬品	新規採用医薬品	新規患者限定医薬品
① バイアスピリン錠 100mg	① トラネキサム酸注 1000mg/10mL「日新」 ② エヌジェンラ皮下注ペン 24 mg、60 mg	① ブルフェン錠 100 ② リンデロン坐剤 0.5mg
新規院外専用医薬品		試用期間延長
① エピデュオゲル ② トラネキサム酸シロップ 5%「NIG」 ③ レボセチリジン塩酸塩 DS0.5%（一般名登録） ④ エパデルカプセル 300 ⑤ フロセミド錠 20mg（一般名登録） ⑥ ブイフェンド錠 200mg ⑦ ラグノス NF 経口ゼリー分包 12g		① アイリーア硝子体内注射液 40 mg/mL

変更した医薬品

No	院内採用削除薬品名	理由	代替薬名
1	パタノール点眼液 0.1%	後発品（AG）へ切り	オロパタジン点眼液 0.1%「サンド」
2	エイソプト懸濁性点眼液 1%	替え	プリンゾラミド懸濁性点眼液 1%「サンド」
3	グラニセトロン静注液 1mg シリンジ 「NK」	販売中止のため	グラニセトロン静注液 1mg シリンジ「サワイ」

採用薬品の処方開始は、原則として**2023年7月4日(火)**からになります。

ただし、採用中止薬、切り替え等は院内在庫薬がなくなり次第実施となりますので開始日が異なる場合があります。

新規試用医薬品

- ① **バイアスピリン錠 100mg** 処方箋医薬品、
(バイエル薬品株式会社) 抗血小板剤
一般名：アスピリン腸溶錠

採用理由

倫理委員会承認の上、妊娠高血圧症候群のハイリスク症例に対して発症予防に使用している。
現在バファリン 81mg を使用しているが、100mg 以上の使用で効果が示されているため、院内採用を希望する。

効能効果

- 下記疾患における血栓・塞栓形成の抑制
 - ・狭心症（慢性安定狭心症、不安定狭心症）
 - ・心筋梗塞
 - ・虚血性脳血管障害（一過性脳虚血発作（TIA）、脳梗塞）
- 冠動脈バイパス術（CABG）あるいは経皮経管冠動脈形成術（PTCA）施行後における血栓・塞栓形成の抑制
- 川崎病（川崎病による心血管後遺症を含む）

用法用量又は使用方法

＜狭心症（慢性安定狭心症、不安定狭心症）、心筋梗塞、虚血性脳血管障害（一過性脳虚血発作（TIA）、脳梗塞）における血栓・塞栓形成の抑制、冠動脈バイパス術（CABG）あるいは経皮経管冠動脈形成術（PTCA）施行後における血栓・塞栓形成の抑制に使用する場合＞

通常、成人にはアスピリンとして 100mg を 1 日 1 回経口投与する。

なお、症状により 1 回 300mg まで増量できる。

＜川崎病（川崎病による心血管後遺症を含む）に使用する場合＞

急性期有熱期間は、アスピリンとして 1 日体重 1kg あたり 30～50mg を 3 回に分けて経口投与する。解熱後の回復期から慢性期は、アスピリンとして 1 日体重 1kg あたり 3～5mg を 1 回経口投与する。

なお、症状に応じて適宜増減する。

処方区分：院内外処方可

長期投与の可否：可

薬価：5.70 円/錠